

平成23年度 教育事業
免許状更新講習

「授業づくりに活かせる体験活動」報告書
～海が学校！海が先生！～

1 必要性

平成21年度から開始された「教員免許更新制」は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

今日の子どもの現状として、基礎的な体力の不足や低下、基本的な生活習慣や生活リズムの乱れ、意欲を持ってないことや希薄な対人関係などが指摘されるとともに、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊などの問題が顕著になっている。

こうした問題の原因として、子どもへの保護者の関与の低さや地域の大人の関わりが少ない、そして、自然とのふれあいや仲間との交流の少なさといった直接体験の不足があげられる。このような状況に対応するため、平成20年3月に告示された学習指導要領においては、子どもたちに社会性や豊かな人間性をはぐくむため、その発達段階に応じ、集団宿泊活動（小学校）、職場体験活動（中学校）、奉仕体験活動や就業体験活動（高等学校）を重点的に推進するとしている。

体験活動の充実を図るためには、教員自らの体験を豊かにするとともに、教員が体験活動に関する基礎的な知識技能を身につけることが求められている。

2 趣旨

小学校教員等が体験活動の意義について理解するとともに「海」を中心とした基本的な体験活動指導技術を実習を通して身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

3 期日

平成23年12月26日（月）～12月28日（水） 2泊3日

4 会場

国立江田島青少年交流の家（江田島市江田島町津久茂1-1-1）

5 参加者

（1）募集対象・人数

平成24年3月31日及び平成25年3月31日が最初の修了確認期限の方で以下に該当する方を対象とする。

小学校・特別支援学校（小学部）に教員として勤務している者

小学校・特別支援学校（小学部）教員として任命・雇用される見込みのある者

(非常勤リストに登録していること・採用内定がされていること等)

小学校・特別支援学校(小学部)教員勤務経験者 20名(最少催行人員5名)

<本講習の受講対象者の生年月日>

・昭和31年4月2日～昭和32年4月1日 ・昭和32年4月2日～昭和33年4月1日

・昭和41年4月2日～昭和42年4月1日 ・昭和42年4月2日～昭和43年4月1日

・昭和51年4月2日～昭和52年4月1日 ・昭和52年4月2日～昭和53年4月1日

※小学校の事例を多く扱うため、主な対象を小学校教諭としたが、中学校教諭・高等学校教諭等も受講可能とした。

(2) 参加人数 31名(男性22名 女性9名)

(3) 参加者分析

小学校教諭21名, 中学校教諭4名, 高等学校教諭1名, 特別支援学校教諭2名, その他3名

(4) 参加地域 広島県28名, 鳥取県1名, 奈良県1名, 福岡県1名

6 内容

(1) 教育の課題に関する理解 (1.5h)

[講義] 新しい時代の新しい教育 広島大学大学院教育学研究科准教授 曾余田 浩史

(内容) 世界が大きな変わり目の今、子どもたちが今後夢と希望を持って生き抜く力を身につける教育に関する講義

(2) 体験活動に関する理解 (2.0h)

[講義] 体験活動の意義と学習指導要領 広島大学大学院教育学研究科教授 林 孝

(内容) 子どもの現状を踏まえ体験活動の必要性和教育効果、また、教育課程における「体験活動」の位置づけに関する講義

(3) 体験活動に関する技能の習得

[実習] 教室でできる「心を育む活動」(2.0h)

国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 森 直樹

(内容) 様々な体験活動を通して子どもたち同士、子どもたちと教員との豊かな人間関係を育む実習

[実習・講義] 海辺の生き物観察と指導法①～③ (7.0h)

大柿自然環境体験学習交流館館長 西原 直久

(内容) 海辺の生き物の観察及び採集を行い、実物体験の意味と指導法を理解する実習・講義

[実習・講義] カッター研修 (2.0h)

国立江田島青少年交流の家企画指導専門職

早田 智博

(内容) カッター研修の教育的効果に関する実習・講義

[実習] 野外炊事 (2.0h) 国立江田島青少年交流の家主任企画指導専門職 原田 尚

(内容) 宿泊活動で行われる「野外炊事」の基礎的な技術を習得する実習

(かまどづくり・炊事・安全指導など) 海辺で採取した魚介類を使っての野外炊事

(4) 履修認定試験 (1.5h)

7 日程

【第1日目】 12月26日(月)

12:00		12:30	13:00		15:00		15:20	17:20		18:30
	受付	開講式 ・ガイダンス	実習 教室でできる「心を育む」活動 (2.0h)		休憩	実習・講義 海辺の生き物観察と指導法① (2.0h)		休憩	夕食 (情報交換会)	

【第2日目】 12月27日(火)

5:30		8:00		9:00	11:30		13:00	15:00		15:30	18:30	
実習・講義 海辺の生き物観察と指導法②(2.5h)		朝食	実習・講義 海辺の生き物観察と指導法③ (2.5h)		昼食	実習・講義 カッター研修 (2.0h)		休憩	実習 野外炊事 (3.0h) 食事時間 休憩含む			

【第3日目】 12月28日(水)

7:20		8:40		10:40		11:00	12:30		14:00	15:30		16:00
朝食	講義 体験活動の意義と学習指導要領 (2.0h)		休憩	講義 新しい時代の新しい教育 (1.5h)		昼食 休憩	履修認定試験 (1.5h)		閉講式	解散		

8 参加経費

23,500円

9 企画・運営のポイント

- 体験活動を実施する際必要な指導技術を効果的に学ぶことができるように「学んだことがクラスで使える」内容に留意して、教室でできる「心を育む」活動をはじめ、海辺での生物観察やカッター研修などの体験活動を行った。
- 参加者の学習意欲を高めるために、多くの生き物の観察が可能になる潮位が最も低くなる日時に海辺の観察時間を設定した。
- 「海」を中心とした基本的な体験活動指導技術が習得できるようにするために長年、地元の海辺の生物を調査・研究し熟知している博士(理学)で大柁自然環境体験学習交流館(江田島市)の西原館長と企画段階から綿密な連携を行った。

10 事業成果

- 終了後のアンケート結果では、総合的な評価が、よい90%、だいたいよい10%と内容に満足したという評価を得た。
- 教室でできる「心を育む」活動、カッター研修、野外炊事では、江田島青少年交流の家でのプログラム効果等について体験を通して十分理解してもらった。カッター研修では、特に安全面、教育効果面の講義とともに実際に漕艇することを通して、体験活動の重要性を理解してもらった。いずれの活動も、「生徒の立場に立ち、多くの体験ができた。とても新鮮な気持ちで取り組み充実したものだった。」と言った感想に見られるように、体験学習の意義や素晴らしさを実感することができたようである。
- 異校種（小学校、中学校、高校、特別支援学校）の先生方が、宿泊をしながら3日間共に過ごした。「多くの先生方と交流ができ、悩みや現状を知ることができたので、とても有意義だった。」といった感想に表れているように、宿泊型のプログラムならではのよさを見ることができた。
- 海辺の生き物観察では、潮位が最も低くなる時間帯に観察時間を設定したことで、多くの生き物を採集することができ、それらを観察する時も大変意欲的であった。



11 普及実績

- 受講された3名の先生方から、学校で活動を安全に行うための参考資料が欲しいという申し出があったので、当交流の家の安全対策マニュアル（カッター、水泳、カヌー、オリエンテーリング）を差し上げ、当交流の家の取組みである安全対策に関する普及をすることができた。
- 免許状更新講習プログラム受講により、学校教育との連携を図り長期宿泊体験活動を円滑に行うための、自然体験活動補助指導者への登録ができることを説明し、登録済みの方を除く全ての受講者30名から登録申請を受け付けることができた。
- ホームページ等で成果等の報告を行い、広く普及したい。